



さくら

2020 秋

発行
社会福祉法人 東桜会
第70号

〒420-0962
静岡市葵区東 527 番地の 1
特別養護老人ホーム 麻機園
TEL 054(247)8739
FAX 054(247)8640

新型コロナウイルスに負けず皆で楽しむ敬老会

皆様、敬老の日おめでとうございます。

麻機園では例年のように、第1部の敬老会式典、第2部のアトラクション、第3部の食事が行われました。ただ一つ違ったのは新型コロナウイルス感染予防のため、ご家族の出席と外部からのアトラクションがなく、入所者の皆様と職員だけの敬老会となりました。敬老会式典に出席された皆様は、男性はワイシャツにネクタイなどこころ一番の服を着て、女性は若い頃を思い出しながらお化粧をしていました。

100歳を超える長寿4人の皆様に、麻機園から長寿記念を贈らせていただきました。「いい柄だね。もったいなくて使えないよ」と嬉しそうにしていました。

第2部のアトラクションでは、来年の東京五輪開催を記念し、入所者代表の麻機園ダンサーズが紅白のボンボンを手に“東京音頭”を踊り、職員は“東京五輪音頭1964年バージョン”で会を盛り上げました。

また、お正月にも登場した職員バンド「ファイブチューチャー」の演奏で敬老会のアトラクションのトリを飾りました。入所者の東京音頭、職員による東京五輪音頭、生バンド演奏どれをとっても元気と笑顔があふれたアトラクションでした。

今年は残念ながら、ご家族を交えて祝福する敬老会とはなりませんでしたが、麻機園らしい和やかで気取らない雰囲気ですべての会を開くことができ、みんなが楽しんで参加できる敬老会となりました。

コロナ感染症禍においても、当たり前のように日々が過ぎて行きます。一日一日を重ね、今年のように皆さんと敬老会を一緒に過ごせたことをうれしく思います。来年もこの日を迎えられるように元気に過ごしましょう！



麻機園 寮母 丸山賀久

☆ ←距離を保って→ 敬老会 ☆ ケアハウス「桜花」

コロナ禍、催し物や外出、面会の制限があり「今年の桜花の敬老会はどのように行うのか」と職員間で意見を出し合い検討しました。マスクを着けて、距離を保って、いつもと違いますが今年も式典を執り行うこととなりました。

残暑厳しく少し汗ばむ敬老会当日、対象となる25名の入居者の皆様が会場に揃いました。例年にご家族を招待して、アトラクションを楽しむ敬老会ですが、今年はいずれもお招きすることができず少し残念でした。「今年はちょっと寂しくなってますみません」と声をかけると、「悪いのは職員さんじゃないよ、コロナだからね。ご苦労さま、ありがとう。」と労っていただきました。マスクでわかりづらい表情も、皆様の温かい目で気持ちが伝わりました。

来年はいつもの敬老会ができるといいですね。これからますます寒くなり、感染症が流行する時期になります。どうぞ皆様もお体に気をつけて健康にお過ごしください。



ケアハウス桜花 生活相談員 佐藤勝洋

やさしさの中で笑顔が咲き揃う 社会福祉法人東桜会

デイサービス通信 ～我らの人生これからだ～

9月18日、月に一度のおやつ作りを行いました。今回はお彼岸にちなみおはぎを作りました。

炊きあがったもち米入りのご飯をすりこぎでつぶし丸めます。あんこで包んだおはぎと、中にあんこを入れきな粉をまぶしたおはぎの2種類を作りました。

「今は買ってくることが多いけど、昔は必ず作ったよ。たくさん作ってみんなで食べた。」と懐かしそうに慣れた手つきで作っていました。「おいしいねえ」と笑顔で召し上がっていました。



麻機園 デイサービス 生活相談員 望月昭子



秋の食祭り スイーツバイキング



コロナウイルス感染予防のため東桜会祭りが中止になり、入所者の皆様に「何か楽しみを」と開催された『秋の食祭り スイーツバイキング』

和菓子・洋菓子などのスイーツとドリンク20種類を用意させていただき、各々が好きなものを好きなだけ食べるという夢のような祭りでした。

相談員、栄養士、機能訓練指導員、デイサービスの職員等が白いYシャツに蝶ネクタイ、カフェエプロンとカフェの店員さんそのものの装いで雰囲気づくりをしました。

いろいろなスイーツが並ぶなか、一人ひとりが迷いながら食べたいスイーツを選び、お皿に取りました。普段は食事を残す入所者もケーキを3つ4つと食べ「次はおまんじゅう」と言い何度もおかわりしていました。入所者から「懐かしいお菓子もいっぱいあったよ。」「どれにしようかと、見ているだけでお腹がいっぱいになっちゃうくらいだったよ。」という声が聞かれ大好評の祭りとなりました。



麻機園 寮母 村松翔一

一年に一度の特別な日

麻機園では、自分の誕生月に誕生者外出を行っています。

外出をして普段食べるのでできないその方の好きな物を食べに行ったり、思い出の場所に行ったり、誕生日ならではの特別な日を過ごしてもらっています。

過去には、「友人のお宅にお邪魔したい」や「若い頃に住んでいた自宅の周りを散歩したい」などで外出された方もいらっしゃいました。普段施設にいる入所者にとって、外出は私たちが感じる何十倍も新鮮なものなのだと感じます。

今年は新型コロナウイルスの影響で外出ができません。誕生者外出ができない代わりに園内の喫茶室で“食べたい物を食べる”という機会を作りました。今年5月の誕生者のK氏。昨年出かけた際に「ラーメンを食べたいな」と話していました。近所の定食屋さんからラーメンを取り寄せ、出前をしてもらい、普段使わない箸を使い大好きなコーラを飲みながら、器用にラーメンをすすって食べました。「はぁ～お腹いっぱい。もう入んない。」と、とても満足な顔を見せてくれました。

多くの歳を重ねた誕生日はどんなことを感じ迎えるのだろう。今まで歩んで来た人生を振り返り自分自身に慈しみをもつ時なのだろうか？年に一度の誕生日を共にお祝いし、少しでも特別な時間として楽しく過ごして頂けるようにしていきたいです。



麻機園 寮母 赤堀倫宏

やさしさの中で笑顔が咲き揃う 社会福祉法人東桜会